

飯館村の土壌と植物の調査

石井慶造、松山成男、寺川貴樹、菊池洋平、石崎梓、藤代史、長久保和義
東北大学大学院工学研究科
生活環境早期復旧技術研究センター

1. 目的

飯館村の土壌と植物の汚染状況の調査を行う。

2. 方法

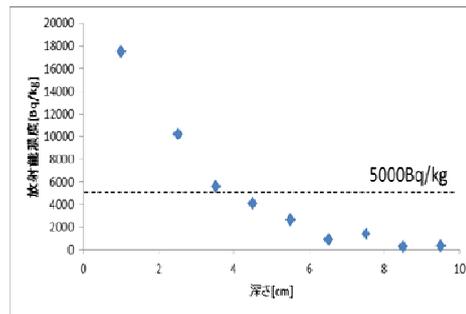
飯館村佐須字虎捕地区の植物と土壌を採取して比放射能を測定し、それらの相関を調べる。

3. 結果（平成24年6月13日発表）

水田土壌の比放射能の地面からの分布は指数関数であった。表面付近の比放射能は約13000Bq/kgだった。一方、植物の比放射能は、100Bq/kg、102Bq/kg、88Bq/kgだったので、植物への移行係数は約0.01となる。（平成24年6月13日発表）

路肩の土壌についても、その分布は指数関数的であり、表面の比放射能は約20000Bq/kgであった。植物の比放射能は25Bq/kgだったので、移行係数は約0.001となり、上の水田土壌の約10分の1となる。

1)

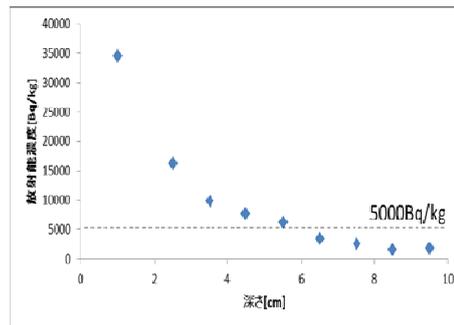


水田土壌
空間線量(1m) 2.7mSv/h

土壌の比放射能の地面からの
距離に関する分布

水田あぜ道 100Bq/kg
水田 102Bq/kg
水田 88Bq/kg

2)



路肩土壌採取
空間線量(1m) 4.6mSv/h

土壌の比放射能の地面からの

25Bq/kg

作成者：石井慶造